

教科	国語	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む
わたしは本	2 (話す聞く2)	○友達の言葉や動作を受け止めてつなげる。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。 ⇒◎知技(1)ア ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表A(1)ア ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ○話し手の目的や自分が関心こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒◎思判表A(1)エ ○意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。 ⇒思判表A(2)ア	○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付いている。((知識及び技能)(1)ア)	○話すこと・聞くことにおいて、話し手の目的や自分が関心こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。((思考力、判断力、表現力等)Aエ)	○進んで目的や意図に応じて、話題を決め、学習の見通しをもって必要な情報を集め、友達言葉や動作を受け止めようとしている。
水平線うぐいす	2	○目や耳で捉えた世界の感じ方を想像しながら詩を読む。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク ○文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒◎知技(1)ケ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果と考えたりすること。 ⇒思判表C(1)エ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒◎思判表(1)カ ○詩や物語、伝記などを讀み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒◎思判表(2)イ	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) ○文章を音読したり朗読したりしている。((知識及び技能)(1)ケ)	○読むことにおいて、詩の全体像を具体的に想像したり、表現の効果と考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cエ) ○文章を音読したり朗読したりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cエ)	○進んで詩の目や耳で捉えた世界の感じ方を想像し、学習の見通しをもって言葉の響きに気をつけながら、音読しようとしている。
いつか、大切なところ	2	○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒◎知技(1)ク ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒◎思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果と考えたりすること。 ⇒◎思判表C(1)エ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) ○文章を音読したり朗読したりしている。((知識及び技能)(1)ケ)	○読むことにおいて、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ) ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果と考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cエ)	○進んで物語の全体像を具体的に想像し、学習の見通しをもって登場人物の心情の移り変わりを考えながら読もうとしている。
新聞を読もう	4 (書く1)	○新聞の仕組みを知り、それをもとに同じできごとを扱った新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて気付いたことを発表し合ったりする。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒◎知技(2)イ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。 ⇒◎思判表B(1)ア ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けするなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたこと。 ⇒思判表C(1)ウ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ)	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。((思考力、判断力、表現力等)Cア)	○進んで新聞の仕組みを知り、今までの学習を生かして新聞記事を読み比べたり、内容や見出し、写真などについて考えたことを話し合おうとしている。
「情報ノート」を作ろう	3 (書く3)	○興味をもったり、疑問に思ったりしたことについて、情報を集めて「情報ノート」を作る。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に對する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒◎思判表(1)ウ ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)エ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒◎知技(2)ア	○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒◎思判表B(1)ア	○積極的に文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って感じたり考えたことについて情報を集めて「情報ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 漢字学習ノート	1	○新しく学ぶ漢字や既習の漢字を取り立て、音読み・意味・使いなどを調べて漢字学習ノートを作る。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒◎知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を調べること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く。共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ク	○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書いている。((知識及び技能)(1)ウ) ○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○書くことにおいて、筋道の通った文章と漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって「漢字学習ノート」を作ろうとしている。
漢字の広場 ① 四年生で学んだ漢字①	1 (書く1)	○絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を調べること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒◎知技(1)エ ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。 ⇒◎思判表B(1)イ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(2)ア	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○「書くこと」において、筋道の通った文章と漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようとしている。

人とねずみの「はい、チーズ！」	1	○絵と解説文を手がかりに、人とねずみが「はい、チーズ！」という言葉で笑顔になるわけを読み、同じ言葉が異なる働きをすることに気づく。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ○事象と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒思判表C(1)ア ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒思判表C(1)ウ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表C(1)オ ○説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。⇒思判表C(2)ア	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((知識及び技能)(2)ア)	○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)Cウ)	○積極的に原因と結果など情報と情報との関係について理解し、学習の見通しをもって同じ言葉が異なる働きをすることに気づき考えたことを文章にまとめようとしている。
言葉と事実	8 (書く2)	○取り上げられた言語表現の事例とその影響、影響を与えた理由をおさえて読み、自身の言語生活も振り返りながら、事実をとらえる際の言葉の働きについて考えを深める。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)イ ○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。⇒知技(2)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ○事象と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒思判表C(1)ア ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすること。⇒思判表C(1)ウ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表C(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ○説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったり文章にまとめたりする活動。⇒思判表C(2)ア	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((知識及び技能)(2)ア)	○「読むこと」において、事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握している。((思考力、判断力、表現力等)Cア)	○粘り強く(論の進め方について考え、学習の見通しをもって事例と原因に気づいて文章を読み、言葉と事実の関係について考えようとしている。
話し言葉と書き言葉	2	○話し言葉と書き言葉の特徴の違いについて理解したり、場に応じた言葉の選び方の違いや表現の仕方の違いについて理解したりする。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技(1)イ	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((知識及び技能)(1)イ)		○積極的に話し言葉と書き言葉の違いを理解し、学習課題に沿って自身の言語生活を振り返って考えようとしている。
「町じまん」をすいせんしよう	4 (話す聞く4)	○推薦するものよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりする。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○文の中での語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。⇒知技(1)キ ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)エ ○意見や提案など自分の考えを話したり、それらを聞いたりする活動。⇒思判表A(2)ア ★特別活動(朝の会)など：目的や内容に応じて適切な方法でスピーチをする。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ)	○積極的に相手や目的、内容に合わせた構成を考え、今までの学習を生かして推薦するもののよさが伝わるように説明したり、納得できるかどうかに留意して聞いたりしようとしている。	
ポスターを作ろう	5 (書く5)	○構成や表現を工夫して、ポスターを作る。 ○話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。⇒知技(1)イ ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思判表B(1)イ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)エ ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。⇒思判表B(1)オ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けすること。⇒思判表B(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	○話し言葉と書き言葉との違いに気付いている。((知識及び技能)(1)イ)	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。((思考力、判断力、表現力等)Bイ) ○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) ○「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bエ) ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。((思考力、判断力、表現力等)Bオ)	○粘り強くポスター全体の構成や展開を考え、学習の見通しをもって構成や表現を工夫して、ポスターを作ろうとしている。
敬語	2	○敬語のはたらきと種類を理解して、正しく使う。 ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。⇒知技(1)キ	○日常よく使われる敬語を理解し、使い慣れている。((知識及び技能)(1)キ)		○積極的に日常よく使われる敬語を理解し、今までの学習を生かして敬語を使う場面や使い方に興味を持ち正しく使おうとしている。
漢字の広場 ② 複合語	1	○複合語の構成や変化、由来などについて理解を深める。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚悟すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((知識及び技能)(1)オ)		○積極的に複合語の組み合わせ方について理解し、学習の見通しをもって複合語について、言葉集めをしようとしている。
漢字の広場 ② 四年生で学んだ漢字 ②	1 (書く1)	○絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚悟すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思判表B(1)イ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○「書くこと」において、筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えている。((思考力、判断力、表現力等)Bイ)	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようとしている。
知りたいことを決めて、話を聞こう	2 (話す聞く2)	○聞きたいことを明確にして、話を聞く。 ○言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることに気付くこと。⇒知識・技能(1)ア ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒思判表A(1)エ ○インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒思判表A(2)イ	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ)	○「話すこと」において、話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。((思考力、判断力、表現力等)Aエ)	○粘り強く(聞きたいことを明確にして、学習の見通しをもって話を聞こうとしている(4)。

詩を味わおう 素材な琴 鳴く虫 山のあなた	2	○さまざまな作品の音読をしながら、詩の世界を楽しむ。 ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒③知技(1)ク ○文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒③思判表C(1)エ ○文章を読んでも理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)カ ○文章を読んでも大まか意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ ○詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。((知識及び技能)(1)ク) ○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((知識及び技能)(3)ウ)	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)エ)	○進んで音の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を楽しもうとしている。
大迫じいさんとがん		○話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒③知技(1)イ ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒③知技(1)オ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒③思判表B(1)ウ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒③思判表C(1)エ ○文章を読んでも理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでも大まか意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ○物語を読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳： 物語の読みをとおして、互いに信頼し、謙虚な心で相手と接することについて考える。	○思考に関わる語句の量を増し、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((知識及び技能)(1)オ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)ウ) ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。((思考力、判断力、表現力等)エ)	○進んで読書に対する大迫じいさんの心情の変化を読み、学習の見通しをもって「やまゆ」の場面を見つたり、大迫じいさんの行動について考えたことを文章にまとめようとしている。
鳥 鳴く虫	1 (書く1)	○「鳥」を扱った言語表現を集める。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒③知技(1)オ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒③思判表B(1)ア ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((知識及び技能)(1)オ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)ウ)	○「読むこと」を扱った言語表現を集めようとし、学習の見通しをもって感じたり考えたことについて文章に書くこととしている。
俳句を作ろう	4 (書く4)	○季節や自分の気持ちや様子を表す言葉を選び、俳句を作る。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒③知技(1)オ ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒知技(1)ク ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒③思判表B(1)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ ○短歌や俳句をつくらなど、感じたことや想像したことを書く活動。 ⇒思判表B(2)イ	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((知識及び技能)(1)オ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にしている。((思考力、判断力、表現力等)ウ)	○進んで語感や言葉の使い方に対する感覚を意識し、学習の見通しをもって俳句をつくらうとしている。
A1とのかしら	6	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○日常よく使われる歌謡を理解し使い慣れること。 ⇒知技(1)キ ○原因と結果など情報と情報との関係について理解すること。 ⇒③知技(2)ア ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて、日常の生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。 ⇒思判表A(1)ア ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。 ⇒思判表A(1)イ ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。 ⇒思判表A(1)ウ ○話し手の目的や自分が聞くこととする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表A(1)エ ○互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒③思判表A(1)オ ○異なる立場を生かした話し合いなど、互いの考えを伝え合う活動。 ⇒思判表A(2)ウ ☆社会科・総合的な学習の時間・特別活動： 根拠や理由をはっきりさせて自分の考えを述べ。	○原因と結果など情報と情報との関係について理解している。((知識及び技能)(2)ア)	○互「話すこと」・聞くこと」において、互いの立場や意図を明確にしながら計画的に話し合い、考えを広げたりまとめたりすること。 ⇒③思判表A(1)オ	○粘り強く二語熟語を決めて話し合い学習の見通しをもってさまざまな意見を聞いて自分の考えを広げようとしている。
漢字の広場 ③ 熟語の構成	1	○二語熟語の構成や由来について理解を深める。 ○第3学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒③知技(1)オ	○思考に関わる語句の量を増し、話の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしている。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使っている。((知識及び技能)(1)オ)		○粘り強く二語熟語の構成や由来について理解を深め、学習の見通しをもって熟語の構成をもとに意味を考えたり、辞典を使って調べたりしようとしている。
漢字の広場 ③ 四年生で学んだ漢字 ③	1 (書く1)	○絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ク ○第3学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒③知技(1)エ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ ○文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒③思判表B(1)オ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ) ○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((知識及び技能)(3)ウ)	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き表し方などに着目して、文や文章を整えている。((思考力、判断力、表現力等)ウ)	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。
「古典」を楽しむ	4 (書く1)	○昔から読み継がれている物語を読み、感想を書く。 ○読みやすい古文や漢文、近代以降の文語調の文章を音読するなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。 ⇒知技(3)ア ○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知ること。 ⇒③知技(3)イ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付く、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒知技(3)ウ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりすることともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒③思判表B(1)ウ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ☆総合的な学習の時間・道徳： 昔の人の思いや考え方にふれ、今と昔の違いや共通点について調べたり、関心を高めたりする。	○古典について解説した文章を読んだり作品の内容の大体を知ったりすることを通して、昔の人のもの見方や感じ方を知っている。((知識及び技能)(3)イ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて、簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)ウ)	○進んで昔から読み継がれている物語を読み、学習の見通しをもって「古典」を読んだ感想をまとめようとしている。

かなづかいで気をつけること	2	○仮名遣いのきまりを理解して、文を正しく書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒③知技(1)ウ	○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ((知識及び技能)1)ウ	○積極的に仮名遣いのきまりを理解し、学習課題に沿って文を正しく書くこととしている。
漢字の広場 ④ 漢字の成り立ち	1	○漢字の成り立ちについて関心を深める。 ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚悟すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒知技(1)エ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ	○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。 ((知識及び技能)3)ウ	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって漢字の成り立ちについて関心を深め、漢字事典で調べようとしている。
漢字の広場 ④ 四年生で学んだ漢字 ④	1 (書く1)	○絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。 ⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を覚悟すること。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。 ⇒③知技(1)エ ○文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒③思判表B(1)オ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(2)ア	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。 ((知識及び技能)1)エ	○「書くこと」において、文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整えている。 ((思考力、判断力、表現力等)8)オ ○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くこととしている。
雪わたり	6	○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒③知技(1)ク ○思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒③思判表C(1)エ ○文章を読んでも理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでもとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒③思判表C(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア ○詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ☆道徳：物語の読みとおして、自分と異なる意見や立場を大切にするとともに、自然の偉大さを知り、自然環境についての考え方を深める。	○比喩などの表現の工夫に気付いている。 ((知識及び技能)1)ク ○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ((思考力、判断力、表現力等)7)エ ○「読むこと」において、文章を読んでもとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ((思考力、判断力、表現力等)7)カ	○進んで物語の表現の工夫や登場人物の関わりを読み、学習の見通しをもって「雪わたりの魅力を紹介する文章を書くこととしている。
「図書すいせん会」をしよう	5 (書く2)	○印象に残った作品を取り上げ、推薦の仕方工夫して、「図書すいせん会」を開く。 ○推薦の仕方工夫して、「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合う。 ○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与すること。 ⇒③知技(3)オ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)ウ ○引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒思判表B(1)エ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒思判表B(1)カ ○文章を読んでもとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒③思判表C(1)カ ○事実や経験に基づき、感じたことや自分にとっての意味について文章を書く活動。 ⇒思判表B(2)ウ ○詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ ○学校図書館などを利用し、複数の本や新聞などを活用して、調べたり考えたりしたことを報告する活動。 ⇒思判表C(2)ウ ☆図書館指導：紹介カードや感想交流コーナーを活用して、読書の幅を広げ合う。	○日常的に読書に親しみ、読書が、自分の考えを広げることに関与すること。 ((知識及び技能)3)オ	○「読むこと」において、文章を読んでもとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げている。 ((思考力、判断力、表現力等)7)カ ○積極的に推薦の仕方を工夫して、学習課題に沿って「図書すいせん会」を開き、読書の幅を広げ合うこととしている。
詩を味わおう はたはたのうた 雪	1	○さまざまな作品の詩を読みながら、詩の世界を味わう。 ○思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○比喩や反復などの表現の工夫に気付くこと。 ⇒③知技(1)ク ○文章を音読したり朗読したりすること。 ⇒知技(1)ケ ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。 ⇒③知技(3)ウ ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。 ⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。 ⇒③思判表C(1)エ ○文章を読んでも理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでもとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。 ⇒思判表C(1)カ ○詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。 ⇒思判表C(2)イ	○比喩や反復などの表現の工夫に気付いている。 ((知識及び技能)1)ク ○語句の由来などに関心をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。 ((知識及び技能)3)ウ	○「読むこと」において、人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりしている。 ((思考力、判断力、表現力等)7)エ ○進んで詩の作品を読み、学習の見通しをもって詩の世界を味わおうとしている。
提案文を書く	6	○話し言葉と書き言葉との違いに気付くこと。 ⇒知技(1)イ ○思考に関わる語句の量を増し、語や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。 ⇒知技(1)オ ○文の中での語句の係り方や接続、文と文との接続の関係、語や文章の構成や展開、語や文章の種類とその特徴について理解すること。 ⇒③知技(1)カ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。 ⇒思判表B(1)ア ○前置詞の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考慮すること。 ⇒思判表B(1)イ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。 ⇒③思判表B(1)ウ ○文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整えること。 ⇒③思判表B(1)オ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けること。 ⇒③思判表B(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。 ⇒思判表B(2)ア	○文の中での語句の係り方や接続、文と文との接続の関係、文章の構成や展開、文章の種類とその特徴について理解している。 ((知識及び技能)1)カ	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりしているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。 ((思考力、判断力、表現力等)7)ウ ○「書くこと」において、文章全体の構成や書き方などに着目して、文や文章を整えている。 ((思考力、判断力、表現力等)8)オ ○「書くこと」において、文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けている。 ((思考力、判断力、表現力等)8)カ

和語・漢語・外来語	2	○和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、それぞれから受ける印象のちがいについて考えることができる。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○語句の由来などに関をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア ○それぞれの立場から考えを伝えるなどして話し合う活動。⇒思判表A(2)ウ	○語句の由来などに関心をもっているとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解している。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解している。((知識及び技能)(3)ウ)	【思判表】「話すこと・聞くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)Aア)	○積極的に和語・漢語・外来語の由来と特質を理解し、今までの学習を生かしてそれぞれから受ける印象のちがいについて考えようとしている。
漢字の広場 ⑤ 同じ音の漢字	1	○同音の漢字、同音異義語について理解する。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ ○語句の由来などに関をもつとともに、時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気づき、共通語と方言との違いを理解すること。また、仮名及び漢字の由来、特質などについて理解すること。⇒知技(3)ウ	○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。((知識及び技能)(1)ウ)	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)Aア)	○積極的に同音の漢字、同音異義語について理解し、学習課題に沿って同じ音の漢字を正しく使い分けようとしている。
漢字の広場 ⑤ 四年生で学んだ漢字 ⑤	1 (書く1)	○絵を見て想像したことをもとに、4年生で学んだ漢字などを使って文を書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ ○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思判表B(1)イ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア	○前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使っている。((知識及び技能)(1)エ)	○筋道の通った文章となるように、文章全体の構成や展開を考えること。⇒思判表B(1)イ	○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を使い、学習課題に沿って、教科書の絵を説明する文を書くようとしている。
まんがの方法	5 (書く1)	○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒思判表C(1)ア ○目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたリ、論の進め方について考えたリすること。⇒思判表C(1)ウ ○文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。⇒思判表C(1)オ ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表C(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ○説明や解説などの文章を比較するなどして読み、分かったことや考えたことを、話し合ったリ文章にまとめたリする活動。⇒思判表C(2)ア	○思考に関わる語句の量を増し、文章の中で使っているとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((知識及び技能)(1)ウ)	【思判表】「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書き表しているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) ○「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたリ、論の進め方について考えたリしている。((思考力、判断力、表現力等)Cウ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。((思考力、判断力、表現力等)Cオ)	○粘り強くまんがの表現方法やおもしろさを理解し、学習の見通しをもってまんがに対する自らの考えの変化を文章に表そうとしている。
ひみつを調べて発表しよう	5 (話す聞く5)	○資料を生かした構成を考えて、効果的に発表する。 ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ○日常よく使われる敬語を理解し使い慣れること。⇒知技(1)キ ○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。⇒知技(2)イ ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒A(1)ア ○話の内容が明確になるように、事実と感想、意見とを区別するなど、話の構成を考えること。⇒思判表A(1)イ ○資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫すること。⇒思判表A(1)ウ ○話し手の目的や自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉え、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめること。⇒A(1)エ ○インタビューなどをして必要な情報を集めたり、それらを発表したりする活動。⇒A(2)イ ☆社会科・総合的な学習の時間・特別活動：根拠や理由をはっきりさせて、自分の考えを述べる。	○情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っている。((知識及び技能)(2)イ)	○「読むこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書き表しているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ)	○進んで資料を生かした構成を考えて、今までの学習を生かして効果的に発表しようとしている。
漢字の広場 ⑥ 送り仮名のきまり	1	○送り仮名について理解を深め、正しく書く。 ○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。⇒知技(1)ウ ○第5学年及び第6学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。⇒知技(1)エ	○文や文章の中で漢字と仮名を適切に使い分けるとともに、送り仮名や仮名遣いに注意して正しく書くこと。((知識及び技能)(1)ウ)		○積極的に前学年や当該学年で配当されている漢字を文や文章の中で使い、学習の見通しをもって送り仮名について理解を深め、正しく書こうとしている。
みずとさがしの旅ーみんなちがって、みんないい		○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ○思考に関わる語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、語句と語句との関係、語句の構成や変化について理解し、語彙を豊かにすること。また、語感や言葉の使い方に対する感覚を意識して、語や語句を使うこと。⇒知技(1)オ ○目的や意図に応じて、感じたことや考えたことなどから書くことを選び、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝えたいことを明確にすること。⇒思判表B(1)ア ○目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするとともに、事実と感想、意見とを区別して書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること。⇒思判表B(1)ウ ○文章全体の構成や展開が明確になっているかなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けすること。⇒思判表B(1)カ ○事実と感想、意見などとの関係を叙述を基に押さえ、文章全体の構成を捉えて要旨を把握すること。⇒思判表C(1)ア ○登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えること。⇒思判表C(1)イ ○人物像や物語などの全体像を具体的に想像したり、表現の効果を考えたりすること。⇒思判表C(1)エ ○思判表C(1)オ 文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめること。 ○文章を読んでまとめた意見や感想を共有し、自分の考えを広げること。⇒思判表C(1)カ ○事象を説明したり意見を述べたりするなど、考えたことや伝えたいことを書く活動。⇒思判表B(2)ア ○詩や物語、伝記などを読み、内容を説明したり、自分の生き方などについて考えたことを伝え合ったりする活動。⇒思判表C(2)イ	○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解している。((知識及び技能)(1)カ)	○「書くこと」において、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりしているとともに、事実と感想、意見とを区別して書き表しているなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。((思考力、判断力、表現力等)Bウ) ○「読むこと」において、登場人物の相互関係や心情などについて、描写を基に捉えている。((思考力、判断力、表現力等)Cイ) ○「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、自分の考えをまとめている。((思考力、判断力、表現力等)Cオ)	○積極的にノンフィクション作品の重要な心情や考えについて理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめようとしている。
国語の学習 これまで これから	2 (話す聞く1・書く1)	○一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、計画的に学習できるようにする。 ○文の中の語句の係り方や語順、文と文との接続の関係、話や文章の構成や展開、話や文章の種類とその特徴について理解すること。⇒知技(1)カ ○目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討すること。⇒思判表A(1)ア (○話し合って考えをまとめたり、意見を述べ合ったりすること。⇒3・4年 思判表A(2)イ)	【知技】話の構成や展開、話の種類とその特徴について理解している。((知識及び技能)(1)カ)	【話すこと・聞くこと】において、目的や意図に応じて、日常生活の中から話題を決め、集めた材料を分類したり関係付けたりして、伝え合う内容を検討している。((思考力、判断力、表現力等)Aア)	○積極的に一年間の国語学習を振り返ったり、これからの学習について考えたりして、今までの学習を生かして計画的に学習しようとしている。

[illegible]

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のわらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
花のつくり	2	アブラナの花のつくりを観察し、めしべ、おしべの特徴を調べることによる。花びらが散った後、めしべのもとに黄粉が残り、中に種子ができることを調べる。	花のつくりを観察し、めしべ、おしべの構造を調べる。花のつくりを調べる。アブラナの花は、1つに1つのめしべ、おしべがあり、花びらが散った後、めしべのもとに黄粉が残り、中に種子ができることを調べる。	花のつくりを観察し、めしべ、おしべの構造を調べる。アブラナの花は、1つに1つのめしべ、おしべがあり、花びらが散った後、めしべのもとに黄粉が残り、中に種子ができることを調べる。	花のつくりを観察し、めしべ、おしべの構造を調べる。アブラナの花は、1つに1つのめしべ、おしべがあり、花びらが散った後、めしべのもとに黄粉が残り、中に種子ができることを調べる。
1. 植物の発芽と成長	13	植物の発芽や成長の様子に興味をもち、見たい問題点を追究する活動を通して、発芽や成長にかかわる条件を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	植物の発芽に水が必要かどうかを調べ、実験の方法や結果を適切に記録している。(行動観察・記録分析) 植物の発芽には、水・温度・空気が関係していることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) ヨウ素液などを目的に応じて用意し、安全に正しく使っている。(行動観察・記録分析) 植物は、種子の中の養分をもちに発芽することを理解している。(記録分析・ペーパーテスト) 植物の成長には、日光や肥料などが関係していることを理解している。(記録分析・ペーパーテスト)	植物の発芽について予想や仮説をもち、条件に着目しながら解決の方法を考案し、表現している。(発言・記録分析) 植物の発芽について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。(発言・記録分析) 植物の成長について予想や仮説をもち、条件に着目しながら実験を計画し、表現している。(発言・記録分析) 植物の成長について、実験結果をもとに条件と関係づけて考察し、表現している。(発言・記録分析)	植物の発芽や成長に連んでかわり、粘り強く、他者とかわりながら、それらの変化を調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 植物の発芽や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
2. メダカのたんじょう	7	メダカを育て、産卵の様子や産卵の様子を観察し、発生の条件や産卵の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	メダカを育て、産卵の様子や産卵の様子を観察し、発生の条件や産卵の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	メダカの発生や成長について予想や仮説を考案し、観察を計画し、表現している。(発言・記録分析) メダカの発生や成長と、その変化にかかわる条件を関係づけて考察し、表現している。(発言・記録分析)	メダカの産卵の様子や産卵の様子を観察し、発生の条件や産卵の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
3. ヒトのたんじょう	5	植物の発生や成長の様子に興味をもち、見たい問題について資料を活用する活動を通して、ヒトの発生や成長の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	ヒトが母体内で成長している様子について、ヒトの発生や成長の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	ヒトの発生や成長について予想や仮説を考案し、観察を計画し、表現している。(発言・記録分析) ヒトの発生や成長と、その変化にかかわる条件を関係づけて考察し、表現している。(発言・記録分析)	ヒトの発生や成長に連んでかわり、粘り強く、他者とかわりながら、それらの変化を調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) ヒトの発生や成長について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
台風と気象情報	3	日本の夏の気候について、雨の降る様子や台風の様子を観察し、発生の条件や産卵の様子を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	台風の動きと気象の変化について、資料を活用し、自分の考えを表現している。(発言・記録分析) 台風の動きと気象の変化を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。(発言・記録分析)	台風の動きと気象の変化について、資料を活用し、自分の考えを表現している。(発言・記録分析) 台風の動きと気象の変化を関係づけて考察し、自分の考えを表現している。(発言・記録分析)	台風の動きと気象の変化に連んでかわり、粘り強く、他者とかわりながら、それらの変化を調べようとしている。(行動観察・発言・記録分析) 台風の動きと気象の変化について学んだことを学習や生活に生かそうとしている。(行動観察・発言・記録分析)
4. 花から実へ	8	植物の花のつくりや実のつくりを観察し、めしべ、おしべの特徴を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	植物の花のつくりや実のつくりを観察し、めしべ、おしべの特徴を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	植物の花のつくりや実のつくりを観察し、めしべ、おしべの特徴を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	植物の花のつくりや実のつくりを観察し、めしべ、おしべの特徴を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
5. 雲と天気の変化	7	雲の量や動きに着目し、それらが天気の変化と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	雲の量や動きに着目し、それらが天気の変化と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	雲の量や動きに着目し、それらが天気の変化と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	雲の量や動きに着目し、それらが天気の変化と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
6. 流れる水のほたらき	11	流れる水のほたらきと土地の変化に興味をもち、見たい問題点を追究する活動を通して、流れる水のほたらきと土地の変化を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	流れる水のほたらきと土地の変化に興味をもち、見たい問題点を追究する活動を通して、流れる水のほたらきと土地の変化を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	流れる水のほたらきと土地の変化に興味をもち、見たい問題点を追究する活動を通して、流れる水のほたらきと土地の変化を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	流れる水のほたらきと土地の変化に興味をもち、見たい問題点を追究する活動を通して、流れる水のほたらきと土地の変化を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
7. ふりこのきまり	6	振り子が往復する時間に着目し、振り子の長さや振り子の質量と周期の関係性を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	振り子の長さや振り子の質量と周期の関係性を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	振り子の長さや振り子の質量と周期の関係性を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	振り子の長さや振り子の質量と周期の関係性を調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
8. ものどけ方	15	ものが水に浮かぶ量や沈む量に着目し、ものの密度や浮力と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	ものが水に浮かぶ量や沈む量に着目し、ものの密度や浮力と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	ものが水に浮かぶ量や沈む量に着目し、ものの密度や浮力と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	ものが水に浮かぶ量や沈む量に着目し、ものの密度や浮力と関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。
9. 電流と電磁石	12	電磁石の導線に電流を流したとき、磁石が動く様子を観察し、電流の向きと磁石の向きと関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	電磁石の導線に電流を流したとき、磁石が動く様子を観察し、電流の向きと磁石の向きと関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	電磁石の導線に電流を流したとき、磁石が動く様子を観察し、電流の向きと磁石の向きと関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。	電磁石の導線に電流を流したとき、磁石が動く様子を観察し、電流の向きと磁石の向きと関係していることを調べる。また、生命を尊重する態度を養い、生命の継続性についての考えをもつことができるようにする。

教科	音楽	学年	第5学年
----	----	----	------

[illegible]

教科	図画工作	学年	第5学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
季節を感じて	4	○季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫しよう。 ○季節から受けたイメージを大切に、表し方を考えよう。 ○季節の感じを味わい、たのしく描こう。	○外に出て季節を見たり感じたりすることから、身のまわりにある興行きや色の鮮やかさを理解している。 ○季節の感じが出るように色使いや筆使いを工夫して表している。	○季節から感じたことをもとに自分のイメージを大切に、どのように主題を表すか考えている。	○季節の感じを味わい、主体的に絵に表わそうとしている。
糸のこの寄り道散歩	2	○板の切り方や組み合わせ方を工夫しよう。 ○曲線切りをした板の形から表したいものを考えよう。 ○電動糸のこぎりて板を切ることのしもう。	○板を自由に切ることを通して生まれた形やその組み合わせの動きや興行き、バランスを理解している。 ○電動糸のこぎりの特性を生かし、板の切り方や組み合わせ方を工夫している。	○切った板の形や組み合わせから表したいものを発想し、どのように表すか考えている。	○糸のこぎりて板を自由に切ることのたのしさを味わい、いろいろな組み合わせを試しながら主体的に表そうとしている。
動きの不思議	2	○人の形を大きくとらえ、動きの表し方を工夫しよう。 ○動きをどのように生かすか考えよう。 ○いろいろな表し方で、たくさん描いてたのしもう。	○自分の体を動かしたり描いたりすることから、人体の形や動きを理解している。 ○人の形を大きくとらえ、体の動きの表し方を工夫している。	○体の動きやバランスなどの特徴をもとに、人をどのように表すか考えている。	○たくさん描くことをたのしみながら、いろいろな表し方をしようとしている。
わたしのおすすめ	4	○伝えたい気持ちが伝わるように、描き方を工夫しよう。 ○地域のものやことなど、表したいことを考えよう。 ○地域のよさを伝えることをたのしもう。	○地域にあるすてきなものとことに着目し、描くことを通して、その造形的な特徴を理解している。 ○伝えたい気持ちが伝わるように、材料や表し方を工夫している。	○伝えたいことや表したいことから発想し、どのように表すか考えている。	○地域のよさを伝えることに主体的に取り組もうとしている。
見つけて！ワイヤードリーム	6	○針金を曲げたりつないでたりして、つくり方を工夫しよう。 ○針金で表したい世界を考えよう。 ○針金でつくることをたのしもう。	○針金を曲げたりつないでたりすることから、動きやバランスを理解している。 ○針金の特性を生かし、金づちやきりなどの用具を活用しながら表し方を工夫している。	○針金を曲げたりつないでたりすることから発想し、つくりたい形や仕組みを考えている。	○針金に主体的に手を加えながら、つくることのたのしさを味わおうとしている。
コロがるくんの旅	6	○玉の転がりを試しながら、コースを工夫しよう。 ○転がると面白いコースやしなかけを考えよう。 ○友達と協力してつくり、遊ぶことをたのしもう。	○コースのしなかけによる玉の転がりが、ものの動きやバランスを理解している。 ○玉の転がりを試しながら、紙を折ったりつないでたりしてコースのしなかけを工夫している。	○玉の転がりをもとにしなかけを発想し、つくりたいコースのイメージをもちながらどのように表すか考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、主体的にコースターをつくる学習活動に取り組もうとしている。
あったらいい町、どんな町	6	○形や色の組み合わせを工夫しよう。 ○想像をふくらませて表したい町を考えよう。 ○表したい町を描くことをたのしもう。	○絵の具やクレヨンを使って想像した町を描くことによって、バランスや色の鮮やかさを理解している。 ○想像したことに合わせて、これまでの絵の具やクレヨンの経験を生かしながら形や色の組み合わせを工夫している。	○あったらいい町という町の具体的なイメージを想像することから、どのように表すか考えている。	○想像を広げて描くことの喜びを味わい、自分のイメージを積極的に表そうとしている。
地球は大きなキャンバスだ	2	○自然の材料と場所の組み合わせ方を工夫しよう。 ○材料や場所、空間の特徴を生かして、できることを考えよう。 ○力を合わせてたのしく活動しよう。	○自然の材料と場所との組み合わせから、興行きや色の鮮やかさを理解している。 ○これまでの経験を生かし、材料や場所に進んで働きかけることから材料と場所の組み合わせを工夫している。	○材料を集めたり場所を探したりすることから、その特徴や周囲の様子を考え合わせたりしながら活動したいことを考えている。	○力を合わせてたのしく活動する喜びを味わい、身近な生活空間に働きかけようとしている。
比べてみよう	2	○作品のよさや違いを見つけよう ○作品の似ているところや違っているところを考えよう。 ○互いの感じ方をたのしんだり、味わったりしよう。	○作品のよさや違いを見つけることから、形や色、描き方など造形的な特徴を理解している。	○作品を比べて似ているところや違うところから、表現の意図や特徴などを感じ取っている。	○気づいたことや感じたことを話し合うことから互いの感じ方の違いを味わい、主体的に鑑賞しようとしている。
進め！ローラー大ぼうけん	4	○ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考えよう。 ○ローラーを使っていたのしく活動しよう。	○ローラーを使った表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。 ○ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせで表し方を工夫している。	○ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考えている。	○ローラーを使って表すことのたのしさを味わい、自分なりの表し方に取り組もうとしている。
色を重ねて広がる形	6	○彫る形や刷る色などを工夫しよう。 ○彫りと刷りの繰り返しから表したいことを考えよう。 ○彫り進み版画をたのしもう。	○版による表現を通して、色の重なりや組み合わせ、形のバランスなどを理解している。 ○版による表現の特徴を生かして、彫る形や刷る色などを工夫している。	○彫りと刷りの繰り返しから想像を広げ、表したいことを考えている。	○彫り進みによる表現の面白さを味わい、主体的に版で表す活動に取り組もうとしている。
Myキャラが動き出す	4	○キャラクターの動かし方を工夫しよう。 ○キャラクターを使ったお話を考えよう。 ○友達と協力してつくることをたのしもう。	○オリジナルのキャラクターでアニメーションをつくることを通して、動きを理解している。 ○お話をもとにキャラクターの動かし方や撮影のしかたを工夫している。	○キャラクターからお話を想像し、動かし方をどのように表すか考えている。	○互いのアイディアを出し合いながら、協力してつくろうとしている。
そっと見てね、ひみつの景色	4	○材料の使い方を工夫しよう。 ○箱の中をどんな場所にすか考えよう。 ○友達との表現の違いを知り、そのよさを味わおう。	○材料の使い方や組み合わせ方から、空間の興行きを理解している。 ○材料の形の大きさや配置の前後など、表したい景色に合わせて表し方を工夫している。	○つくることと見ることを繰り返しながら、イメージした景色をどのように表すか考えている。	○互いの表現の違いやよさを味わい、主体的に活動に取り組もうとしている。
進め！ローラー大ぼうけん	2	○ローラーの特徴を生かして、表し方を工夫しよう。 ○ローラーを使ってできた形や色から表したいことを考えよう。 ○ローラーを使っていたのしく活動しよう。	○ローラーを使った表現を通して、形や色の組み合わせとそこから生まれるバランスや色の鮮やかさを理解している。 ○ローラーによる表現の特徴を生かして、他の材料や方法を組み合わせで表し方を工夫している。	○ローラーを使ってできた形や色から想像を広げ、表したいことを考えている。	○ローラーを使って表すことのたのしさを味わい、自分なりの表し方に取り組もうとしている。

教科	体育	学年	第5学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
体ほぐしの運動	3	・いろいろな体ほぐしの運動を行い、仲間と体を動かす楽しさや心地よさを味わう。	・体ほぐしの運動の行い方がわかる。 ・手軽な運動を行い、体を動かす楽しさや心地よさを味わうことを通して、自己や仲間の心と体の状態に気付いたり、仲間と豊かに関わり合ったりすることができる。	・心と体の関係を理解し、友達と関わり合ったりするなどのねらいに応じた活動を選んでいる。 ・様々な運動を行って比較することで、気付きや関わり合いが深まりやすい運動を選んでいる。 ・運動を行うと心と体が軽やかになったことやみんなでリズムに乗って運動をすると楽しさが増したなどを学習カードに書き、振り返りの時間に発表している。	・体ほぐしの運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。
体の動きを高める運動	8	・体の動きを高めるためのいろいろな運動の行い方を理解し、動きを工夫して体力を高める。	・体の動きを高める運動の行い方がわかる。 (ア)体の柔らかさを高めるための運動 体の各部位の可動範囲を広げる体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (イ)巧みな動きを高めるための運動 人や物の動き、または場所の広さや形状などの環境の変化に対応して、タイミングやバランスよく動いたり、リズムカルに動いたり、力の入れ方を加減したりする体の動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (ウ)力強い動きを高めるための運動 自己の体重を利用したり、人や物などの抵抗に対してそれを動かしたりすることによって、力強い動きを高めることをねらいとして行う運動ができる。 (エ)動きを持続する能力を高めるための運動 一つの運動又は複数の運動を組み合わせで一定の時間続けて行ったり、一定の回数を反復して行ったりすることによって、動きを持続する能力を高めることをねらいとして行う運動ができる。	・自己の体力の状況を知ったり、様々な動きを試したりすることを通して、体の動きを高めるためにどのような運動に取り組むとよいか、自己の課題を見付けている。 ・体の動きを高めるために、自己に合った運動の行い方を選んでいる。 ・どのようなポイントを意識して運動を行うと動きが高まるのかを見付け、それを生かした運動を工夫している。 ・グループで工夫した運動の行い方を、他のグループに例示して見せたり、言葉で伝えたりしている。 ・感想を伝える場面で、言葉のかけ方や並び方などの条件を工夫することで楽しく運動が行えたことを他者に説明している。	・体の動きを高める運動に積極的に取り組んでいる。 ・運動を行う際の約束を守り、仲間と助け合っている。 ・運動を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・運動の行い方について仲間の気付きや考え、取組のよさを認めている。 ・運動の場の危険物を取り除くとともに、用具の使い方や周囲の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

マット運動	6	・できる技を安定して行ったり、できそうな技に挑戦したり、技を組み合わせたりする。	・マット運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った回転系や巧技系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返すことができる。 ・技を選んでそれらにバランスやジャンプなどを加えて組み合わせたり、ベアやグループで動きを組み合わせせて演技をつくりたりできる。 ○開脚前転 ○補助倒立前転(更なる発展技:倒立前転) ○伸膝後転 ○倒立ブリッジ ○ロンダート ○頭はね起き ○補助倒立	・マット運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・マット運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
鉄棒運動	5	・できそうな技に挑戦したり、できる技を組み合わせたりして、鉄棒運動を楽しむ。	・鉄棒運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った支持系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりできる。 ・選んだ技を自己やグループで繰り返したり、組み合わせたりすることができる。 ○前方支持回転 ○片足踏み越し下り ○膝掛け上がり ○前方もも掛け回転 ○逆上がり ○後方支持回転 ○後方もも掛け回転 ○両膝掛け振動下り	・鉄棒運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・鉄棒運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。
跳び箱運動	6	・いろいろな技に挑戦し、安定した跳び方ができるようにする。	・跳び箱運動のいろいろな技の行い方がわかる。 ・自分の力に合った切り返し系や回転系の基本的な技を安定して行ったり、その発展技に取り組んだりすることができる。 ○かかえ込み跳び(更なる発展技:屈身跳び) ○伸膝台上前転 ○頭はね跳び(更なる発展技:前方屈腕倒立回転跳び)	・跳び箱運動のポイントを理解し、自分や友達の動きを照らし合わせて課題を見付けている。 ・見付けた課題を解決するために、複数の場の中から自分の課題に適した練習の場を選んでいる。 ・グループの中で観察し合ったり、学習カードやICT機器を活用したりして見付けた、演技のこつやわかったことを、文字や図で書いたり映像を活用して発表したりするなどして伝えている。	・跳び箱運動の基本的な技や発展技、それらの技を組み合わせることに積極的に取り組んでいる。 ・互いの役割を決めて観察し合うなど、学習の仕方や約束を守り、仲間と助け合っている。 ・器械・器具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・技や演技を行うなかでわかったことを伝えたり、課題の解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・けがのないように、互いの服装や髪形に気を付けたり、場の危険物を取り除いたりするとともに、試技の前後などに器械・器具の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

短距離走・リレー	5	・素早いスタートからいろいろな短距離走をしたり、みんなの力を生かす作戦を工夫してチーム対抗のリレーをしたりする。	・短距離走やリレーの行い方がわかる。 ・スタンディングスタートから、素早く走り始めることができる。 ・体を軽く前傾させて全力で走ることができる。 ・テークオーバーゾーン内で、減速の少ないバトンの受渡しをすることができる。	・短距離走やリレーのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競走のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・短距離走・リレーのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・短距離走やリレーに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・短距離走やリレーの場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
ハードル走	6	・ハードルの間を3歩のリズムで調子よく走り越して、記録に挑戦したり競走したりする。	・ハードル走の行い方がわかる。 ・第1ハードルを決めた足で踏み切って走り越えることができる。 ・スタートから最後まで、体のバランスをとりながら真っ直ぐ走ることができる。 ・インターバルを3歩または5歩で走ることができる。	・ハードル走のポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ハードル走のポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・ハードル走に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ハードル走の場の危険物を取り除くなど、用具の安全に気を配っている。
走り幅跳び	5	・リズムカルな助走から力強く踏み切って遠くへ跳び、自分の記録に挑戦したり、走り幅跳びの競争をしたりする。	・走り幅跳びの行い方がわかる。 ・7～9歩程度のリズムカルな助走をすることができる。 ・幅30～40cm程度の踏切りゾーンで力強く踏み切ることができる。 ・かがみ跳びから両足で着地することができる。	・走り幅跳びのポイントがわかり、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に適した練習方法や練習の場を選んでいる。 ・自分の能力に適した競争のルールや記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・走り幅跳びのポイントや友達のよい動きなどを、学習カードに記入したり、振り返りの時間に発表したり、感想文を書いたりしている。	・走り幅跳びに積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・用具の準備や片付け、計測や記録などで、分担された役割を果たしている。 ・勝敗を受け入れている。 ・課題を見付けたり、その解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・走り幅跳びの場を整備したりするなど、用具の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

水泳運動	8	・安全確保に繋がる動きができるようになる。平泳ぎやクロールで長く泳げるようになる。	【クロール】 ・クロールの行い方がわかる。 ・手を左右交互に前方に伸ばして水に入れ、水を大きくかくことができる。 ・柔らかく足を交互に曲げたり伸ばしたりして、リズムカルなばた足をする事ができる。 ・肩のローリングを用い、体を左右に傾けながら顔を横に上げて呼吸をすることができる。 ・左右の手を入れ替える動きに呼吸を合わせて、続けて長く泳ぐことができる。 【平泳ぎ】 ・平泳ぎの行い方がわかる。 ・両手を前方に伸ばし、ひじを曲げながら円を描くように左右に開き、水をかくことができる。 ・足の親指を外側に開いて左右の足の裏や脚の内側で水を挟み出すとともに、キックの後に伸びの姿勢を保つことができる。 ・手の動きに合わせて呼吸することができる。 ・キックをした勢いを利用してしばらく伸び、続けて長く泳ぐことができる。 【安全確保につながる運動】 ・安全確保につながる運動の行い方がわかる。 ・顔以外の部位がしっかりと水中に入った背浮きの姿勢を維持することができる。 ・大きく息を吸ってだるま浮きをした状態で、仲間に背中を押して沈めてもらい、息を止めてじっとして水面に浮上する浮き沈みを続けることができる ・タイミングよく呼吸をしたり、手や足を動かしたりして、続けて長く浮くことができる。 ・息を一度に吐き出し呼吸することができる。	・学習カードや掲示物などを活用して、水泳運動のポイントと自分や仲間の動きを照らし合わせ、課題を見付けている。 ・クロールや平泳ぎで進んだ距離や、浮き沈みの回数、背浮きの時間などを自分で決めて挑戦し、自分の課題を見付けている。 ・自分の課題に応じた練習の場や仕方を選んでいる。 ・自分で選んだ泳ぎ方で続けて長く泳いだり、決まった距離でのストローク数に挑戦したりするなど、自分や友達の能力に応じた記録への挑戦の仕方を選んでいる。 ・ペアやグループで互いの動きを見合ったり、練習の補助をし合ったりすることを通して、見付けたポイントやお互いの課題に適した練習方法を伝えている。 ・友達とお互いの動きのよさを確かめ合ったり称賛し合ったりしている。	・水泳運動が自己保全のために必要であることを生かし、クロールや平泳ぎをしたり、背浮きや浮き沈みをしたりするなどの水泳運動に積極的に取り組んでいる。 ・自己や仲間の課題を解決するための練習では、練習場所やレーンの使い方、補助の仕方などの約束を守り、仲間と助け合っている。 - ウ 水泳運動で使用する用具の準備や片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・課題を見付けたり、解決方法を工夫したりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・プールの底・水面などに危険物がないかを確認したり、自己の体の調子を確かめてから泳いだり、仲間の体の調子にも気を付けるなど、水泳運動の心得を守って安全に気を配っている。
ゴール型(フラッグフットボール)	7	・作戦を基に、攻め方や動き方を工夫して、フラッグフットボールをする。	・フラッグフットボールの行い方がわかる。 ・近くにいるフリーの味方にパスを出すことができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてタッチダウンすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	・誰もが楽しくフラッグフットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・フラッグフットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

ベースボール型(ソフトボール)	7	・攻め方や守り方を工夫して、ソフトボールをする。	・ソフトボールの行い方がわかる。 ・止まったボールや易しく投げられたボールをバットでフェアグラウンド内に打つことができる。 ・打球方向に移動し、捕球することができる。 ・捕球する相手に向かって、投げることができる。 ・塁間を全力で走塁することができる。 ・守備の隊形をとって得点を与えないようにすることができる。	・誰もが楽しくソフトボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・ソフトボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
ゴール型(シートバスケットボール)	7	・パスやシュートをしながら攻め方を工夫して、シートバスケットボールをする。	・シートバスケットボールの行い方がわかる。 ・近くにフリーの味方にパスを出すことができる。 ・相手に捕られない位置でドリブルをすることができる。 ・ボール保持者と自己の間に守備者が入らないように移動することができる。 ・得点しやすい場所に移動し、パスを受けてシュートなどをするすることができる。 ・ボール保持者とゴールの間に体を入れて守備をすることができる。	・誰もが楽しくシートバスケットボールに参加できるように、プレイヤーの人数やコート広さ、プレイの制限、得点の仕方などの規則を工夫している。 ・チームの特徴に応じた作戦を選び、自分の役割を確認している。 ・課題の解決のために、自分や友達が行っていた動き方の工夫を、動作や言葉、絵図、ICT機器を用いて記録した動画などを使って友達に伝えている。	・シートバスケットボールの簡易化されたゲームや練習に積極的に取り組んでいる。 ・ルールやマナーを守り、仲間と助け合っている。 ・ゲームを行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・ゲームの勝敗を受け入れている。 ・ゲームや練習の中で互いの動きを見合ったり、話し合ったりする際に、仲間の考えや取組を認めている。 ・ゲームや練習の際に、使用する用具などを片付けたり場の整備をしたりするとともに、用具の安全に気を配っている。
表現運動・はげしく〇〇する！	6	・生活や自然の中から、激しい感じや急変する感じなどの題材を見つけ、表したいイメージを感じを込めて踊る。	・表現「はげしく〇〇する」の行い方がわかる。 ・表現「はげしく〇〇する」のいろいろな題材からそれらの主な特徴を捉え、表したい感じやイメージをひと流れの動きで即興的に表現したり、グループで簡単なひとまとまりの動きにして表現したりすることができる。 ・題材から動きの変化や起伏の特徴を捉え、そこに感情の変化や起伏を重ねていくことができる。 ・表したい感じやイメージを、素早く走る一急に止まる、ねじる一回る、跳ぶ一転がるなどの動きで変化を付けたり繰り返したりして、激しい感じや急変する感じをメリハリ(緩急・強弱)のあるひと流れの動きにして即興的に踊ることができる。	・表現「はげしく〇〇する」のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいく。 ・表現したい「イメージを強調する」ために、差のある動きや群の動きなどで変化を付ける方法を選んでいく。 ・表現したい「イメージを伝える」ために、一番盛り上げたい場面を明確にし、急変する場面や取り入れる群の動きを選んでいく。 ・表したい感じやイメージが表現され、踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいく。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。	・表現「はげしく〇〇する」の表したい感じやイメージを表現する運動に積極的に取り組んでいる。 ・表現に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・表現にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・表現を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・活動する場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

フォークダンス・日本の民謡	3	・「阿波踊り」「ソーラン節」「春駒」など、日本の踊りの特徴を捉えてみんなで踊る。	・日本の民謡の行い方がわかる。 ・日本の民謡の特徴を捉え、基本的なステップや動きを身に付けて、音楽に合わせてみんなで楽しく踊って交流することができる。 ・日本の民謡に共通する特徴やそれぞれの踊り方の特徴を捉え、構成された基本的な踊り方を身に付けて踊ることができる。 ・阿波踊り(徳島県)や春駒(岐阜県)などの軽快なリズムの踊りでは、軽快な足さばきや手振りで踊ることができる。 ・ソーラン節(北海道)の力強い踊りでは、低く踏みしめるような足取りや腰の動きで踊ることができる。	・日本の民謡のポイントがわかり、自分の課題の解決策を考えたり、課題に応じた見合いや交流の仕方などを選んでいる。 ・踊りの特徴を捉えているかなどを確認するための仕方を選んでいる。 ・課題の解決のために友達と見合ったところを他者に伝えている。 ・ペアのグループやクラス全体で踊り、日本の民謡で身に付けた踊りの特徴が出ているかを伝えている。	・日本の民謡で交流したりする運動に積極的に取り組んでいる。 ・日本の民謡に取り組む際に、互いの動きや考えのよさを認め合っている。 ・日本の民謡にグループで取り組む際に、仲間と助け合っている。 ・日本の民謡を行う場の設定や用具の片付けなどで、分担された役割を果たしている。 ・踊る場所の危険物を取り除くとともに、仲間とぶつからないよう、場の安全に気を配っている。
心の発達	2	・心は、人との関わり、あるいは自然とのふれあいなど、様々な生活経験や学習を通して、年齢とともに発達することを理解できるようにする。 ・心の発達について、自己の経験と学習したことを関連付けて、よりよく発達させる適切な方法を考えることができるようにする。 ・心の発達について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組むことができるようにする。	・心は、感情、社会性、思考力など様々なはたらきの総体として捉えることができることがわかる。 ・心は多くの人との関わりや自然とのふれあいなど様々な生活経験や学習を通して、年齢に伴って発達することがわかる。 ・心が発達することで、自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したりすることができるようになることや筋道を立てて考えたりすることができるようになることがわかる。	・心はどのように成り立っているのかを調べたり、心は体のどこにあるのかを考えたりして、説明している。 ・心(感情、社会性、思考力など)は、どのように発達してきたのか、小さいころの自分と比べて考え、説明している。 ・自分の心はどんなことを通して発達してきたのか、自分の経験を振り返って人との関わりなどから考え、他者に伝えている。 ・よりよく心を発達させるための自己の課題を見付け、これからどんなことがしてみたいかを考えている。	・心の成り立ちやそのはたらきに関心をもち、心が自分の小さいころと比べてどのように変わってきたか、進んで小さいころを思い出して比較しようとしている。 ・自分の感情をコントロールしたり、相手の気持ちや立場を理解したり、自分の気持ちをうまく相手に伝えたりして、心をより豊かにしていこうとしている。 ・自己の気持ちを上手に伝えられるようになろうとするなど、他者とよりよいコミュニケーションを取れるようになろうとしている。
心と体の関わり	2	・心と体の関わりを知り、心と体は深く影響し合っていることを理解できるようにする。 ・心と体の関わりについて、自己の経験と学習したことを関連付けて考えることができるようにする。 ・心と体の関わりについて資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や緊張時には、動悸が激しくなったり、腹痛を起したりすること、体調が悪いときには、集中できなかったり、落ち込んだ気持ちになったりすること、体調がよいときには、気持ちが明るくなったり、集中できるようになったりすることなど、心と体は深く影響し合っていることがわかる。	・緊張したときや、うれしいときに体の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・睡眠不足や適切な運動をしたときに心の状態がどうなるかを考え、説明している。 ・心と体はどのようにつながっているのかを調べ、発表している。 ・自分のふだんの生活の中で、心と体が影響し合っていると思うことについて考え、記している。	・心配事があったときや緊張したときの体調の変化や、体の調子が悪かったとき・よかったときの心の状態を、自分の経験に照らし合わせて具体的に思い出そうとしている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名: 江戸川区立篠崎第三小学校

不安やなやみなどへの対処	2	・不安や悩みへの対処には、大人や友達に相談する、仲間と遊ぶ、運動をするなどいろいろな方法があることを知り、呼吸法などの対処のしかたをできるようにする。 ・不安や悩みに対処する様々な方法を考え、学習したことを活用して、適切な方法を選ぶことができるようにする。 ・不安や悩みの対処法を進んで考え、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・不安や悩みがあるということは誰もが経験することであり、そうした場合には、家族や先生、友達などと話したり、相談したりすること、仲間と遊ぶこと、運動をしたり音楽を聴いたりすること、呼吸法を行うことなどによって気持ちを楽にしたり、気分を変えたりするなど様々な方法があり、自分に合った適切な方法で対処できることを理解している。 ・自己の心に不安や悩みがあるという状態に気付くことや不安や悩みに対処するために様々な経験をすることは、心の発達のために大切であることを理解している。 ・不安や悩みへの対処として、体ほぐしの運動や深呼吸を取り入れた呼吸法などを行うことができる。	・小学生の悩みにはどんなものがあり、どんなことについていちばん悩んでいるのかを調べ、他者に伝えている。 ・不安や悩みへの対処法にはどんなものがあるのかを話し合い、自分に合った適切な対処法はなにかを考え、選択している。 ・心や体の緊張を和らげるための深呼吸を試し、深呼吸する前と後ではどんな変化があるのかを説明している。	・いろいろな悩みの例に注目し、自分も同じような悩みはないか照らし合わせるなど、それぞれの項目に関心をよせている。 ・不安や悩みの対処の仕方に関心をもち、自分に合った対処の仕方を進んで考えようとしている。
けがや事故の起こり方	2	・けがや事故は人の行動と周りの環境が原因で起こり、人の行動はそのときの心の状態や体の調子と関係していることを理解できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分け、説明できるようにする。 ・けがや事故が起こる原因について資料を見たり、生活を振り返ったりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・毎年多くの交通事故や水の事故が発生し、けがをする人や死亡する人が少なくないことがわかる。 ・けがや事故の多くは、人の行動と周りの環境が原因で起こっていることがわかる。 ・人の行動は、慌てていた、疲れていたなど、そのときの心の状態や体の調子とも関係していることがわかる。	・けがや事故は何が原因で起こるのか調べ、説明している。 ・学校生活でのけがは、いつどこで多く起こっているのかを知り、その理由を人の行動と環境から説明している。 ・様々な状況におけるけがや事故が起こる原因を人の行動と周りの環境に分けて考え、説明している。	・学校生活や日常の生活での事故やけがの原因に関心をもち、危険予測に進んで取り組もうとしている。 ・事故やけがの起こり方の原則に照らし合わせて危険予測をし、いろいろな場面での事故やけがの具体的な原因を進んで探ろうとしている。
学校や地域でのけがの防止	2	・学校や地域でのけがの防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境を整えることが必要であることを、理解できるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・学校や地域でのけがの防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習に取り組むことができるようにする。	・学校や地域でのけがを防ぐには、ルールを守るとともに、危険を予測して、正しい判断をし、安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・学校や地域でのけがを防ぐには、危険な場所の点検や修理などを通して、安全な環境をつくることも必要であることがわかる。	・けがにつながる「かくれた危険」を見つけ、その理由を説明している。 ・どうすれば学校や地域でのけがを防ぐことができるのかを調べ、説明している。 ・ある場面にどんな危険が潜んでいるのか危険の予測をし、安全な行動の仕方を考え、記している。 ・学校や地域では危険を防ぐためにどのような安全な環境づくりが行われているのかを調べ、発表している。	・けがの防止の原則に関心をもち、学校生活で危険を予測した様々な場面について、進んであてはめてみようとしている。 ・学校や地域、家庭における安全な環境づくりについて、どのような工夫や備えをしているのか、進んで調べようとしている。
交通事故の防止	2	・交通事故の防止には、周囲の危険に気づくこと、的確な判断の下に安全に行動すること、安全な環境づくりが必要であることを、理解できるようにする。 ・自己の周囲の環境を振り返り、危険の予測や回避の方法を考え、説明できるようにする。 ・交通事故の防止について、生活を振り返ったり、危険の予測や回避の方法を考えたりするなど、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・交通事故の防止には、学校や地域でのけがの防止と同じように、危険を予測し、正しい判断をして安全な行動をとることが大切であることがわかる。 ・交通事故を防止するために様々な環境づくりが行われていることがわかる。	・交通事故はどんな場所で、どんなときに起こりやすいのかを理解して、説明している。 ・ある場面における交通事故の危険を予測し、事故にあわないための安全な行動を考えて、記している。 ・交通事故を防ぐための安全な環境づくりとしてカーブミラーや横断禁止の標識をどこに設置すればよいのかを考え、その理由を説明している。 ・自分の家の近くや通学路で交通事故が起きそうな場所を思い浮かべて、交通事故を防ぐ安全な行動を考えて、その理由を書いている。	・危険を予測した場面の中から、交通事故に関連した危険な場面での行動の仕方について、けがの防止の原則に進んであてはめてみようとしている。

令和4年度 評価規準

※「表現運動」「ボール運動(〇〇型など)」は、運動例となります。

学校名:江戸川区立篠崎第三小学校

犯罪被害の防止	2	・犯罪被害にあわないためには、犯罪が起こりやすい場所を避けることや、犯罪に巻き込まれそうになったらすぐに助けを求めることが必要であることを理解できるようにする。 ・犯罪被害から身を守るために、危険を予測し、回避の方法を考えて、説明できるようにする。 ・犯罪被害の防止について、課題の解決に向けての話し合いや発表などの学習活動に、積極的に取り組むことができるようにする。	・犯罪から身を守るには、犯罪被害にあいやすい場所を避けるなど、危険を予測し、安全な行動をとることが大切なのがわかる。 ・犯罪被害に巻き込まれそうになったら、すぐに逃げたり、大声で助けを求めたりすることが大切であることを理解している。 ・警察や地域の人々によって、危険な場所の点検などの活動を通して安全を守るための環境づくりが行われていることがわかる。	・小学生が誘拐や暴力などの犯罪被害にあいやすい場所がわかり、犯罪被害にあいやすい理由を考え、説明している。 ・様々な場面において犯罪被害にあうとどんな危険があるのかを予測し、犯罪被害にあわないための安全な行動の仕方を考えている。 ・犯罪被害を防ぐための安全な環境づくりにはどんなものがあるのかを調べ、他者に伝えている。	・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害にあいやすい場所はどこか、進んで調べようとしている。 ・自分たちが住んでいる地域において、犯罪被害を防ぐためにどんな安全な環境づくりが行われているか、進んで調べようとしている。
けがの手当	2	・自らできる簡単な手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、患部を冷やすなどの方法があることを知り、手当ができるようにする。 ・自分のけがに関わる経験を振り返ったり、学習したことを活用したりして、けがの適切な手当の方法を考えたり、選んだりできるようにする。 ・けがの手当について、これまでの経験を振り返ったり、実習に取り組んだりして、積極的に学習活動に取り組むことができるようにする。	・けがをしたときには、けがの種類や程度などをできるだけ早く判断することが大切であることを理解している。 ・軽いけがのときはすばやく自分で手当をすることで、けがの悪化を防ぎ、治りも早くなることがわかる。 ・自分で手当ができない大きなけがのときや、自分で手当ができるかどうか判断がつかないときは、すぐに近くの人に知らせることが大切であることを理解している。 ・自分でできる手当には、傷口を清潔にする、圧迫して出血を止める、けがをしたところを冷やすなどの方法があることを知り、けがに合った適切な手当の仕方を選んで簡単な手当ができる。	・学校で起きやすいけがをグラフから読み取っている。 ・けがをしたり、けがをしている人を見たりしたときに、まず何をすればよいのかを調べ、発表したりしている。 ・手当の仕方の原則を知り、いろいろなけがの手当について他者に伝えている。	・自分が校庭でけがをしたときのことを想定して、どのように行動すればよいのかを進んで考えている。

教科	家庭科	学年	第5学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
私の生活、大発見！	4	家庭の仕事について、家族との「協力」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識を身につけ、家族の一員として、家庭の仕事の計画を工夫することができる。	家庭には、家庭生活を支える仕事があり、たがいに協力し分担する必要があることを理解している。	家庭の仕事について問題を見いだして課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族や地域の人々との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
おいしい楽しい調理の力	6	ゆでる調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、おいしく食べるための調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	ゆでる調理の計画や調理の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	おいしく食べるためにゆでる調理の計画や調理の仕方について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
ひと針に心をこめて	9	生活を豊かにするための布を用いた手ぬいの製作について、「健康・快適・安全」の視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	製作計画や手ぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や手ぬいによる製作について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた手ぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
持続可能な暮らしへ物やお金の使い方	6	物や金銭の使い方と買い物について、「持続可能な社会の構築」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、消費者として、物の選び方、買い方、使い方を考え、工夫することができる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について理解しているとともに、購入に必要な情報の収集・整理が適切にできる。	物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、物や金銭の使い方と買い物や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
食べて元気！ご飯とみそ汁	10	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、調理計画を考え、調理の仕方を工夫することができる。	食事の役割と栄養について理解しているとともに、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について理解し、適切にできる。	食事の役割と栄養、伝統的な日常食である米飯及びみそ汁の調理計画や調理の仕方について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、食事の役割や調理の基礎について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
物を生かして住みやすく	7	気持ちのよい住まい方について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、住まいの整理・整頓や清掃の仕方、環境や資源を大切に物を使い方などを考え、工夫することができる。	住まいの整理・整頓や清掃の必要性や仕方について理解しているとともに、適切にできる。	住まいの整理・整頓や清掃の仕方や環境に配慮した生活について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、快適な住まい方や環境に配慮した生活について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
気持ちがつながる家族の時間	2	家族との関わりについて、家族の「協力」などの視点から、課題をもって、家族とのふれ合いや団らんの大切さを理解し、よりよい関わりを考え、工夫することができる。	家族とのふれ合いや団らんの大切さについて理解している。	家族とのよりよい関わりについて問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。
ミシンにトライ！ 手作りで楽しい生活	11	生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、「健康・快適・安全」などの視点から、課題をもって、基礎的・基本的な知識及び技能を身につけ、製作計画を考え、製作を工夫することができる。	製作計画やミシンぬいによる製作の仕方について理解しているとともに、適切にできる。	生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画やミシンぬいによる製作について問題を見いだし課題を設定し、さまざまな解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身につけている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いたミシンぬいによる製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、ふり返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

教科	外国語	学年	第5学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 1 Hello, friends.	8	名前や好きなもの・ことを伝えることができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりできる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字を書くことができる。)	○(知識)[I'm ~. My name is ~. I like ~. What ~ do you like?]およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)名前や好きなもの・ことなどについて、[同上]を用いて、聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、名前や好きなもの・ことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 2 When is your birthday?	8	誕生日やほしいものを伝えることができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、自分や相手の誕生日やほしいものなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりできる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の小文字を書くことができる。)	○(知識)When is ~?. My birthday is ~?. What do you want for ~?. I want ~. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)誕生日やほしいものなどについて、When is ~?. My birthday is ~?. What do you want for ~?. I want ~. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、誕生日やほしいものなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 3 What do you want to study?	8	学びたい教科やなりた職業を伝えることができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりた職業などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)What do you want to study?. I want to study ~. What do you want to be?. I want to be ~. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)学びたい教科やなりた職業などについて、What do you want to study?. I want to study ~. What do you want to be?. I want to be ~. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりた職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、学びたい教科やなりた職業などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 1 外国の人に自己紹介をしよう	2	初めて会う外国の人に自己紹介をすることができる。 (外国の人に自己紹介するために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日などについて話することができる。)	○(知識)Unit 1～3で学習した表現やその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日などについて、Unit 1～3で学習した表現やその関連語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○外国の人に自己紹介をするために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○外国の人に自己紹介をするために、好きなもの・こと、ほしいもの、誕生日などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。
Unit 4 He can bake bread well.	8	地域の身近な人を紹介することができる。 (地域に住む身近な人を紹介するために、その人のできることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)[I/You/He/She can ~. Can you ~? Who is ~? This is ~. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)地域に住む身近な人のできることなどについて、[同上]を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、地域に住む身近な人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、地域に住む身近な人のできることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 5 Where is the post office?	8	場所をたずねたり、答えたりすることができる。 (自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)Where is ~?. Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's by/in/on/under ~. You can see it on your left/right. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)場所や位置のたずね方や答え方などについて、Where is ~?. Go straight for ~ block(s). Turn left/right. It's by/in/on/under ~. You can see it on your left/right. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	○自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。	○自分の知りたい場所や位置をたずねたり、相手を案内したりするために、場所や位置のたずね方や答え方などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 6 What would you like?	8	ていねいな注文をしたり、値段をたずねたりすることができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり会計したりすることなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、What would you like? I'd like ~. How much is it? It's ~ yen. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、ていねいな表現を使って注文したり、会計したりすることなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったりしようとしている。外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 2 地域のおすすめを紹介しよう	2	あなただけの地域のおすすめを外国の人に紹介することができる。 (地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物、人、特産物などについて話することができる。)	○(知識)Unit 4～6で学習した表現やその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)建物や人、特産物などについて、Unit 4～6で学習した表現やその関連語句などを用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物や人、特産物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○地域のおすすめを外国の人に紹介するために、建物や人、特産物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。
Unit 7 Welcome to Japan.	8	日本の四季や文化について紹介することができる。 (自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)Why do you like ~?. We have ~. What do you do ~?. I usually ~. You can ~. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)日本の四季や文化などについて、Why do you like ~?. We have ~. What do you do ~?. I usually ~. You can ~. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日本の四季や文化などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Unit 8 Who is your hero?	8	あこがれの人について発表することができる。 (あこがれの人を紹介するために、日常生活やその人が得意なことなどについて、短い話を聞いてその概要が分かったり、伝え合ったり、話したりすることができる。外国語の背景にある文化に対する理解を深める。アルファベットの活字体の大文字・小文字を書くことができる。)	○(知識)Who is your hero?. My hero is ~. Why is ~ your hero?. He/She is good at ~. およびその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)日常生活やあこがれの人が得意なことなどについて、Who is your hero?. My hero is ~. Why is ~ your hero?. He/She is good at ~. およびその関連語句などを用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりする技能を身に付けている。	○自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日常生活やあこがれの人が得意なことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしている。	○他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いて、自分のことを伝え、相手のことをよく知るために、日常生活やあこがれの人が得意なことなどについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、聞いたり、伝え合ったり、話したりしようとしている。 ○外国語の背景にある文化に対する理解を深めようとしている。
Check Your Steps 3 「日本のすてき」を紹介しよう	2	「日本のすてき」を英語の先生に紹介することができる。 (「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物などについて話することができる。)	○(知識)[Unit 7～8で学習した表現やその関連語句などについて、理解している。 ○(技能)人や行事、食べ物などについて、[同上]を用いて、考えや気持ちなどを話す技能を身に付けている。	○「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話している。	○「日本のすてき」を紹介するために、人や行事、食べ物などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて、考えや気持ちなどを話そうとしている。

教科	総合的な学習の時間	学年	第5学年
----	-----------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
お米博士になろう！	20	「米」に関する課題を設定し、パソコンや図書などを有効に使い、「米」について調べることができる。そして、調べたことを分かりやすくまとめたり、発表したりする。	○本やインターネットを用い、課題を解決する調べ学習ができる。	○聞き手を意識して、発表をまとめ、表現することができる。 ○米のよさや大切さ、食生活の課題などを相手に伝えるために発表方法を考え工夫し、効果的な表現をしている。	○他者の発表や自分の学習をふり返、の学習をふり返り、さまざまな食生活や食文化に気づき、自分ができていることを考え実践しようとする。
他者理解 ～はこべ学級との交流～	15	探求的な活動を通して、他者に対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。	○障害について考えることで、自分を含め周りには様々な特徴や性格をもつ人がいることを理解している。	○障害について考えることで、自分にできることは何かを考えている。	○はこべとの交流会で目的意識をもって活動している。

教科	特別活動	学年	第5学年
----	------	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価基準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
学級の目標を決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを決めよう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
楽しい運動会にしよう	3	高学年としての自覚をもち、運動会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、運動会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもち、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、運動会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
雨の日の過ごし方	3	高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
1学期を振り返ろう	1	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
自分のめあてを振り返ろう (夏休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
2学期のめあてを決めよう	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
★篠三まつりを成功させよう	3	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもち、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、篠三まつりに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
★学習発表会を成功させよう	6	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、学習発表会を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもち、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、学習発表会に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
2学期のめあてを振り返る (冬休みの計画を立てよう)	2	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
充実したウィンタースクールにしよう	1	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールを通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもち、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、ウィンタースクールに向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
3学期のめあてを決めよう (冬休みを振り返ろう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。
ウィンタースクールを振り返ろう	1	高学年としての自覚をもち、行事を通して、自己の成長を感じるとともに、互いの良さを見付け、違いを尊重し合い、仲良くしたり、信頼し合ったりして生活する。	高学年としての自覚をもち、行事を通して成長する上での課題を見いだしたり、課題の改善に取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、行事を通して成長する上での課題に気付き、多様な意見をもち、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、行事に向けて粘り強く取り組んだり、他者を尊重して主体的によりよい人間関係を形成しようとしていたりしている。
寒さに負けず元気に過ごそう	2	高学年としての自覚をもち、天候や学校の状況を踏まえた生活のしかたを考えることを通して、身を守り安全に生活したり行動したりすることができるようにする。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活を送るための課題の改善に向けて取り組むことの意義を理解し、身に付けている。	高学年としての自覚をもち、安全に日常生活をおくる上での課題に気付き、他者の意見を聞きながら、自らの解決方法を意思決定し、実践している。	高学年としての自覚をもち、自己の生活をよりよくするために、他者と協働しながら自己の生活上の課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。
すてきな最高学年を目指そう (春休みの計画を立てよう)	3	学級や学校での生活づくりに主体的に関わり、自己を生かそうとするとともに、希望や目標をもち、その実現に向けて日常の生活をよりよくしようとする。次の学年への意識を高めようとする。	自己の良さを生かしながら、目標の達成への見通しをもち、自己実現を図るために必要な知識や行動の仕方を理解している。	自己の生活や学習への課題について考え、よりよく生きるための課題を見だし、解決のために話し合って意思決定し、自分の良さを生かしたり、他者と協力したりして、実践している。	目標の達成を見通して自分に合った目標を立て、自己の良さを生かし、他者と協働して目標の達成を目指しながら、主体的に行動しようとしている。

教科	読書科	学年	第5学年
----	-----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
2年生に読み聞かせをしよう 新聞を読もう 調べる名人になろう	12	○動物が出てくる物語を選び、2年生の実態に合った本を選ぶことができる。 ○読み聞かせを通して、読書の良さを実感することができる。 ○見出しを比べて新聞を読むことができる。	○読み聞かせした本の内容について感想を交流できることを理解する。 ○見出しや記事の書き方に注目して新聞を読むことができる。	○動物に関わる様々な事象を自分の考えや経験等と関連付け、問題を見つけている。 ○事実と意見に分けて記事を読んだり書いたりしている。	○2年生に合う本を、進んで選び読もうとしている。 ○進んで新聞記事を比べて読もうとしている。
日本調査隊 椋鳩十の本を紹介しよう	15	○自分が行きたい県を選んで特色を紹介することができる。 ○椋鳩十の作品を読み、自分と自然とのかかわりについて考えることができる。 ○自分の選んだ作品のよさを友達に伝えることができる。	○問題解決のために、図書資料を読み、必要な情報を引用したり要約したりして書き出している。 ○優れた情景描写や叙述について整理することができる。	○問題解決のために、収集した資料を整理・分析している。 ○椋鳩十の作品の魅力について、自分の考えたことをわかりやすく伝えようとしている。	○問題解決のために探した本を進んで読もうとしている。 ○進んで本を読み、椋鳩十の作品のよさを知ろうとしている。 ○自分と自然とのかかわりについて知り、自身の人生に生かそうと、主体的に学んでいこうとしている。
ビブリオバトルをしよう 金子みすゞの本を読もう	8	○これまでの読書経験から、友達におすすめの本を紹介することができる。	○紹介する本について、必要な情報を抜き出し、記録する。	○自分の考えを分かりやすくまとめ、友達に表現している。	○読書の良さを理解し、友達と関わり合いながら主体的に学ぼうとしている。